森小学校だより

第8号　平成23年12月6日 発行

講演会から学んだこと

校長　榊原　茂

秋から冬へと季節が移ってきたと実感できるようになりました。そのような１１月の終わりに、森中校区自慢づくり講演会で伊藤幸弘氏を迎えての子育てのお話を聞きました。町内の方々にも多数お越しいただきありがとうございます。暴走族の総長という経験をもち、今は青少年の更正活動や子育ての相談員等を行っている方ですが、怖そうな顔と時に大きな声での独特の話し方から「子育てで一番大切なのは愛情だよ」と言われると今までのいろいろな話を聞いたときより素直に心に入ってきました。

そして、１日には、「子どもが成長するためには、学校と家庭と地域社会から学ばなければないが、それぞれに特徴があり互いを補うことができない。」という話を聞く機会がありました。その方は、「学校は学力をつける場であると共に点数等で競争を強いる場であり、大人になって職場等での競争に耐えうる心を養う場である。地域は、学力ではなく世代を超えて関わっていくルールとかものの考え方を学ぶ場、家庭はあなたはあなたなんだという自己肯定感を育てる場である。そして、学校が家庭や地域に変わることはできず（変わってはいけない）また家庭が学校に変わることもできない。」と話されました。

愛情とバランスの話を聞いたときに、私は学校の職員としての子どもへの愛情のかけ方と家庭での父親の愛情のかけ方との違いを意識していたのかと振り返ると自分の未熟さということを感じました。子どもにとっては、学校と家庭と地域社会のバランスが今崩れていると言われますが、森中校区の自慢づくり事業はまさしく学校と家庭と地域社会のバランスづくりになるということだと思います。「愛情」をキーワードにしてそれぞれの場でよろしくお願いたします。

１２月の学校経営から

あいさつ運動

子どもたちにとっては２学期の終わりとなり、勉強でやり残しがないか点検したり今までの学校生活の反省をしたりとかそれぞれの学級で行います。その中で、年度当初から取り組んできたあいさつについては褒められる場面も出てきましたが、２学期から取り組んできた優しい言葉づかいについてはまだまだだと感じています。過日も「死ね」などの文字が落書きされてるのが分かり指導したところですが、御家庭でも言葉づかいについては気にかけていただければと思います。

また、職員にとっては４月からの教育活動の振り返りの月になります。この結果をもとにして１月から次年度の計画を立てることになりますので大切な振り返りです。それぞれの御家庭にもアンケートをお願いいたしますが御協力をお願いします。

冬休みのお願い

子どもたちが事故もなく病気もなく健康に過ごしてほしいという願いはもちろんですが、冬休みには特に地域社会や家庭にはいろいろな風習や行事があるということも勉強してほしいと思っています。

かっては一年を通しいろいろな行事が行われていたようですが今それがあまり残っていず、それと同時に人と人とのつながりの喪失がおきていないかと心配される方もいます。都市部では事実であると思いますが、私たち森町は残っていると思います。森町の良さとして子どもたちに伝えてほしいと願っています。

自分で作ったしめ縄を飾ろう

１２月１７日（土）親子しめ縄づくりを向天方の望月さんを講師にして行います。

１２日が申込み締め切りです。

５年生宿泊訓練、６年生修学旅行が終わる

１年生の学校探検からスタートする教室を離れての学習、その後社会見学等でバスや電車を使い、５年生になり宿泊訓練で集団で生活すること集団で活動することを学んで、６年生の修学旅行でまとめとなります。

５年生も１１月１６日から２泊３日の観音山での宿泊訓練を終えました。今年も道に迷って、みんなの倍くらい歩いたグループもありました。困ったり、しかられたり、褒められたりの２泊３日でした。この経験が修学旅行に生きてきます。６年生は現地に行って解散する場合も「しおりに書いてあることを覚えていますね。約束はしっかり守ってください。」の言葉です。事細かにその場では注意は与えません。しかし、今年の修学旅行で集合時刻に遅れたということは１回もありません。予定された時刻には次の活動に移っていきます。過去の学びがしっかり生きた修学旅行になったと感じました。

このように、１年生から諸活動を積み上げるようにして行われているわけです。それぞれの学年で、この１１月は特に校外学習が多かったのですが御理解と御協力に感謝申し上げます。

“森っ子ミュージック”11 月 28 日(月)30 日(水)

ハーモニー委員会の呼びかけで森っ子ミュージックが昼休みに開催されました。全校からみんなの前で発表したい子たちが集まり、歌を披露する子、ピアノ演奏をする子、合奏をする子など人数も曲目も様々でしたが、とても楽しそうでした。聞いている子どもたちも一緒に体を動かしたり、口ずさんだりしてとてもうれしそうでした。

“避難訓練”11 月 29 日(火)

今回は、火災を想定した避難訓練を実施しました。子どもたちは、「お（押すな）か（かけるな）し（しゃべるな）も（もどるるな）」の約束を守って、静かに素早く避難することができました。その後、消防署の方の指導のもと、放水訓練を実施しました。６ 年生代表児童と少年消防クラブの子、教師代表が行いましたが貴重な体験となりました。